

令和6年度

第1回山梨県文学館協議会資料

令和6年10月23日（水）

山梨県立文学館

文学館活動目標

山梨県総合計画（第二次）では「文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現」することを目指すべき将来像に掲げています。そのため、次のとおり活動目標を掲げます。

【展示／見る】

魅力あるテーマによる「企画展」「特設展」の開催と、収蔵品を生かして山梨県出身・ゆかりの文学者を紹介する「常設展」の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】

社会教育・学校教育と連携をはかり、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

【資料情報／収集・保存・公開】

山梨県出身・ゆかりの作家、作品に関わる資料を中心に収集・保存していくと同時に、広く公開して活用を図る。

【付加価値・魅力／たのしむ】

文学館及び芸術の森公園に、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行い、文化観光の拠点をめざす。

令和5年度の活動状況

※施設設備工事のため令和5年4月30日まで休館。
5月1日から開館

【展示/見る】

【特別展示】「文豪の筆跡 館蔵の名品から」 会期：令和5年5月1日～6月11日

【企画展】 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」 会期：7月15日～9月24日

【特設展示】「それぞれの源氏物語」 会期：令和5年10月28日～12月17日

【新収蔵品展】 会期：令和6年1月27日～3月24日



「ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ」

「銭天堂へようこそ」展

- ・展示室は一部除いて撮影可能とし、公園内にも撮影スポットを設置。
- ・展示室→ミュージアムショップ→閲覧室めぐるスタンプラリーを実施。
- ・2階ロビーにオリジナルグッズと駄菓子販売のショップ開設（文学館協力会が運営）

【展示/見る】

【常設展】

- ・年4回（5月、6月、8月、12月）一部入替え
- ・第1室に期間限定のコーナーを設置
 - 春・夏 作家の肖像Ⅰ 太宰治
 - 秋 昇仙峡名勝指定100年記念展示 与謝野晶子短歌軸装など
 - 冬 作家の肖像Ⅱ 芥川龍之介

- ・「富士山の日フェスタ2024」開催にあわせて「富士山点描」コーナーを設置
- 会期：1月27日～3月3日
- 芥川龍之介「富士山」原稿（ほかを展示）



【教育普及/学ぶ】

【年間文学講座】

秋の特設展「それぞれの源氏物語」に向けて、講座1（古典文学）講座2（近代文学）ともに「源氏物語」をテーマに解説。

【県立図書館との共催事業】

8月11日 県立図書館の金田一館長と三枝館長のスペシャルトーク
「言葉との出会いがもたらした人生の転機」 文学館講堂で開催



令和6年度の活動状況、および予定

【展示/見る】

春・夏の特設展、秋の企画展を「開館35周年記念」事業として開催

【特設展】「生誕140年 歿後50年 中村星湖展」会期：4月27日～6月23日



- ・1994年開催した企画展から30年ぶりの中村星湖展。
- ・富士河口湖町からの協力で、風景写真の提供や町の広報誌への紹介記事掲載をいただいた。

【展示/見る】

【特設展】「文学はおいしい」会期：7月13日～8月25日



- ・チラシデザインをイラストで制作。
- ・県内各市町村に呼びかけ、食をテーマにしたパンフレット・リーフレットの提供を呼びかけ、展示室内に設置。
- ・スタンプラリーを実施（展示室→ミュージアムショップ→閲覧室）

【展示/見る】

【企画展】

「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」 会期：9月14日～11月24日(開催中)



- ・金子兜太の生涯と作品、飯田龍太との交友を紹介。
現在活躍する俳人、歌人、詩人、評論家30人による兜太の一句鑑賞を展示。
- ・兜太の書斎を復元。

【新収蔵品展】 会期：令和7年2月1日～3月23日(予定)

【展示/見る】

【常設展】

- ・3月、6月、8月、12月の4回、一部の資料入れ替えを実施。
第1室「期間限定コーナー」で次の展示を実施
春 深沢七郎 生誕110年
夏 虚子と富士北麓の俳人たち 高浜虚子生誕150年
秋 田中冬二 生誕130年 〈開催中〉
冬 山崎方代 生誕110年 〈予定〉

- ・日本銀行から旧五千円札（樋口一葉肖像）の最終製造券(LD899997J)の寄贈を受けた。7月5日より、平成16年寄贈の若い記番号(A000006A)と並べて、常設展第1室に展示中。



【教育普及/学ぶ】

【年間文学講座】

- 講座 1 (古典文学) 藤原道長と紫式部のライバルたち 年8回
講座 2 (近代文学) 健全と不健全のあいだ 日本近代の犯罪小説を読む 年8回
講座 3 作家と作品 学芸員による 年4回



【特設展、企画展関連事業】

- ・「中村星湖展」 中丸宣明氏 (法政大学教授) の講演会
- ・「文学はおいしい」 消しゴムはんこ作りワークショップ
- ・「金子兜太展」 井上康明氏 (俳人)、佐佐木幸綱氏 (歌人) の講演会、担当学芸員の講座を開催。10月に座談会、はんこ作りワークショップを予定。



展示資料にちなんで、
ヤマメの消しゴムはんこを作成



金子兜太と交友があった佐佐木幸綱氏の講演会を三枝館長が聞き手となって開催

【教育普及/学ぶ】

【創作教室】

- ・短歌教室／小説創作教室
短歌と小説創作教室では、高等学校文化連盟と共催、高校生参加枠を設け、一般社会人と一緒に受講する機会としている。

【ZINE作り教室とZINEフェスティバル】

- ・創作と交流の場として令和3年度から実施
ワークショップ ……ZINEを制作

フェスティバル ……展示と配布の場

個人や団体のほかに、県内の学校へ参加を呼びかけた。

昨年の県立大、都留文科大、笛吹高校、駿台甲府高校生に加え、令和6年度は、甲府一高、甲府西高、韮崎高校、白根高校、北杜高校、富士河口湖高校の文芸部等が出品、参加へ広がった。



【教育普及/学ぶ】

【文学解説】 展示の解説

前年度に県内学校宛に、年館の事業、提供できるプログラムの情報、利用の仕方などをお知らせする。



クイズを解きながら、山梨の文学者について学ぶ。



【教育普及/学ぶ】

【出前授業】

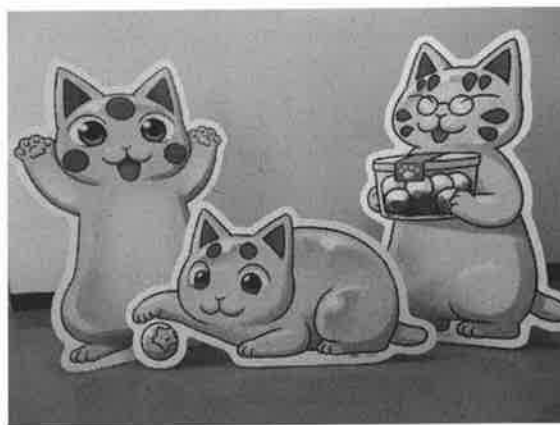
三枝館長の短歌教室の出前講座、職員による出前講座を随時実施。

【アウトリーチ】

令和6年度新たに「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」のセットを追加。

このほか、名作映画鑑賞会、朗読公演会、教師のための学習会、ジュニアインターンシップ等を実施。

今後、「金子兜太展」関連座談会・ワークショップ、朗読教室を予定。



【資料情報/収集・保存・公開】

閲覧室における事業として

収蔵資料の閲覧、情報の提供、レファレンスサービス、複写サービスを実施。

資料の情報は、文献検索システムにより管理し、文学館HPの「蔵書検索」ページで公開。

このほか、収蔵する図書・雑誌を手にとって閲覧出来る展示コーナーを随時設営。

閲覧室の事業を紹介する、閲覧室トークを実施。

【資料情報/収集・保存・公開】



閲覧室資料紹介



閲覧室トーク

【資料情報/収集・保存・公開】

デジタルアーカイブ開設 令和6年10月1日

文学館の収蔵コレクションの内、樋口一葉、芥川龍之介、太宰治の直筆資料（原稿・草稿・書簡など）を、鮮明な画像で当館ホームページ上で公開した。

作家名、資料種別、資料名で検索、閲覧が可能。

[デジタルアーカイブURL] <https://digital-archive.pref.yamanashi.jp/>

山 梨 県 立 文 学 館
デジタルアーカイブ
Digital Archive

デジタルアーカイブを公開しました

山梨県立文学館で収蔵している
樋口一葉、芥川龍之介、太宰治
の直筆資料を公開しています。



出典：近代日本人の肖像

2023 (令和5) 年度

2024 (令和6) 年度

特別展示 文豪の筆跡	企画展 ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ	特設展 それぞれの源氏物語	新収蔵品展	開館35周年記念特設展 生誕140年 歿後50年 中村星湖展	開館35周年記念特設展 文学はおいしい	開館35周年記念企画展 金子兜太展 しかし日暮れを急がない	新収蔵品展
自主企画 常設展の一環として開催	巡回展	自主企画 常設展の一環として開催	観覧料無料	自主企画 常設展の一環として開催	自主企画 常設展の一環として開催	自主企画	自主企画 常設展の一環として開催
R5年5月1日(月) ～ 6月11日(日)	R5年7月15日(土) ～ 9月24日(日)	R5年10月28日(土) ～ 12月17日(日)	R6年1月27日(土) ～ 3月24日(日)	R6年4月27日(土) ～ 6月23日(日)	R6年7月13日(土) ～ 8月25日(日)	R6年9月14日(土) ～ 11月24日(日)	R7年2月1日(土) ～ 3月23日(日)
37日間	63日間	44日間	50日間	49日間	39日間	62日間	43日間
3,039名	20,704名	4,530名	2,950名	2,758名	3,865名	開催中	開催予定
森鷗外の鉛筆で書かれた原稿、夏目漱石が新聞社の専属作家になる際の条件を綴った毛筆の書簡、正岡子規、谷崎潤一郎、太宰治ら文豪の直筆資料から、個性あふれる筆跡の魅力と、資料にひそむドラマチックな背景を紹介した。	小学生に人気の児童小説シリーズ「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」の作品世界を原作イラストを元にしたディスプレイで会場内に再現。公園にもキャラクターのスタンディを設置して屋内外にフォトスポットを散りばめ、夏休み中に家族で楽しめる展覧会とした。	世界最古の長編小説「源氏物語」の現代語訳に挑んだ近代作家の仕事を紹介した。3度の訳に挑んだ与謝野晶子、原本に沿った訳に拘った谷崎潤一郎、やさしい言葉で読者に語りかけた円地文子など、現代語訳の変遷を原稿、書画、書簡などで紹介した。	令和4年度から令和5年度にかけて、当館が新たに収蔵した資料の中から作家の直筆原稿や書簡、色紙や掛け軸などの書画を展示した。太宰治が新婚時代を過ごした甲府からの葉書、井伏鱒二「笠雲」原稿、山本周五郎「古今集巻之五」原稿など。	明治40年代、自然主義文学の隆盛期に小説「少年行」で文壇に登場した中村星湖(富士河口湖町生まれ)の生涯と作品を取り上げた。小説のほか、フローベル、モーパッサンの翻訳、民衆芸術、農民文学運動に関わる評論活動など、多彩な業績を紹介した。	文学作品に登場する食の場面、作家と食べ物のエピソードを葡萄のめぐみ/甲州のうまいもの/お酒のシーン/料理する作家たちなどの切り口で、芥川龍之介や深沢七郎、林真理子の資料を中心に紹介。県内各市町村の食に関わるパンフレットのコーナーを設けた。	金子兜太(1919～2018 埼玉県生まれ)は、従軍体験を経て、前衛俳句、社会性俳句の中心的存在として活躍した戦後を代表する俳人。自作を揮毫した力強い書の掛け軸や色紙、日記などのほか、書斎の一部を再現し生涯と作品の魅力を紹介した。	令和6年に新たに収蔵した資料を公開する。
							
夏目漱石 志賀直哉宛書簡 1914(大正3)年2月2日 朝日新聞に小説執筆を依頼している。	銭天堂で売っている一粒食べると一日晴れる「天晴れレモン」	林真理子「STORY OF UJI 小説源氏物語」第1回原稿「和楽」2013(平成25)年4月号掲載	太宰治 山崎剛平宛葉書 1939(昭和14)年6月9日消印 甲府市御崎町から送られた葉書。	中村星湖「少年行」原稿「早稲田文学」第18号掲載 1907(明治40)年5月	飯田龍太「ほうとう」原稿 家ごとに味に特徴があること、作った翌日の味わい方などを語る。	金子兜太「彎曲し火傷し爆心地のマラソン」色紙1958年から1960年まで長崎に赴任中の作。	樋口一葉「猫の子もらひにやる文」草稿 生前唯一の単行本『通俗書簡文』収録。最晩年の筆跡。

令和6年度 教育普及事業の実施状況と今後の予定(9月末現在)

分類	事業名	内容	開催日	会場	参加人数	合計	
年間 文学講座	講座1 藤原道長と紫式部のライバルたち —大河ドラマの世界を同時代の史料と文学作品から読む— 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①藤原道長の父兼家とその子供たち	6月8日(土)	研修室	94人	330人	
		②藤原道長の兄道隆とその息子たち	7月6日(土)		90人		
		③藤原道隆と娘の定子	8月10日(土)		76人		
		④藤原道隆の息子伊周と貴族社会のあつれき	9月14日(土)		70人		
		⑤藤原道隆の死と中関白家の没落	10月12日(土)				
		⑥藤原道隆死後の藤原定子と一条天皇	11月2日(土)				
		⑦藤原定子と藤原道長の娘彰子	12月7日(土)				
		⑧清少納言と紫式部	1月25日(土)				
	講座2 健全と不健全のあいだ—日本近代の犯罪小説を読む— 講師：古川 裕佳 (都留文科大学教授)	①志賀直哉「范の犯罪」	5月21日(火)	研修室	21人	108人	
		②志賀直哉「濁つた頭」	6月18日(火)		18人		
		③菊池寛「ある抗議書」	7月23日(火)		21人		
		④芥川龍之介「二つの手紙」	8月20日(火)		23人		
		⑤芥川龍之介「或旧友へ送る手記」	9月3日(火)		25人		
		⑥谷崎潤一郎「途上」	10月8日(火)				
		⑦谷崎潤一郎「白屋鬼語」	11月12日(火)				
		⑧木々高太郎「文学少女」	12月17日(火)				
	講座3 講師：当館学芸員	①資料からみえる中村星湖の人と作品 講師：保坂雅子	6月2日(日)	研修室	24人	72人	
		②作家が描いた甲州の“食”あれこれ 講師：高室有子	8月12日(月)		48人		
		③金子兜太展のみどころ 講師：中野和子	10月6日(日)				
		④生誕120年 四尾連湖畔の詩人野沢一 講師：伊藤夏穂	11月10日(日)				
	特設展・企画展 関連事業	「生誕140年 歿後50年中村星湖展」関連事業	講演会「中村星湖 自然主義文学の再評価の中で」 講師：中丸宣明(法政大学教授)	5月18日(土)	研修室	42人	388人
			教師のための学習会	5月23日(木)	特設展	8人	
		「文学はおいしい」関連事業	ワークショップ「消しごむはんこづくり」 講師：アオヤギ ルミ	7月28日(日)	研修室	36人	
			「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」関連事業	講演会「兜太と龍太—その交友の歳月—」 講師：井上康明(俳人・「郭公」主宰)	9月16日(月・祝)	講堂	
講演会「金子兜太さんのこと」 講師：佐佐木幸綱(歌人・国文学者・「心の花」主宰) 聞き手：三枝昂之		9月29日(日)		144人			
座談会「兜太作品の原点を語る—第一句集『少年』・第二句集『金子兜太句集』を中心に—」 講師：高野ムツオ、高山れおな、佐藤文香		10月26日(土)					

分類	事業名	内容	開催日	会場	参加人数	合計
画特 展設 展展 業関 連・事 業企	金子兜太展 続き	教師のための学習会	9月19日(木)	企画展	7人	
		ワークショップ 「はんこ彫り(篆刻)をしよう！」 講師：望月煌雅	10月27日(日)	研修室		
名作 鑑賞 映画 会	一般向け	「まく子」	5月6日(月・振休)	講堂	130人	342人
		「天地悠々 兜太・俳句の一本道」	11月9日(土)			
		「伊豆の踊子」	2月1日(土)			
	子ども向け	「あん」	8月4日(月)		212人	
文学 創作 教室	小さな本(ZINE)作り教室	講師：吉田朝麻	7月20日(土)	研修室	33人	113人
	初心者短歌教室	講師：三枝浩樹	6月22日(土)		14人	
	小説創作教室	① 講師：川上健一	6月29日(土)		18人	
		② 講師：川上健一	9月28日(土)		19人	
	短歌講座	① 講師：三枝昂之	9月7日(土)		29人	
		② 講師：三枝浩樹	12月14日(土)			
ワー クシ ョッ プ	朗読教室	原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師：原きよ	2月2日(日)	研修室		0人
	俳句教室	① 講師：長田群青	1月26日(土)			
		② 講師：長田群青	2月16日(土)			
出前 講座	山梨の文学解説講座	峡南国語部会	1回		8人	758人
	小中高文学教室	県内小中高等学校	10回		750人	
文学 解説	展示解説 (一般向け)	元気夢クラブ	1回	常設展 特設展 企画展	30人	685人
	展示解説 (小中高大学生向け)	学生への展示解説	19回		655人	
チャ レン ジク イズ	特設展	「中村星湖展」	4月27日- 6月23日	特設展	1,539人	2,373人
		「文学はおいしい」	7月13日- 8月25日			
	企画展	「金子兜太展」	9月14日- 11月24日	企画展	53人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ?)	小中高一般	通年	常設展	672人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の 森公園	109人	
実習 受入	ジュニアインターン シップ	中高生(5人×2日、3人×1日)	7月24日- 26日		13人	19人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習 (1人×6日)	7月17日- 21日・3日		6人	
そ の 他	アウトリーチ (移動文学館)	小中高 19校	通年		5,124人	6,657人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月21日(日)	研修室	265人	
	博学連携広報活動	校長会・国語部会での普及事業説明など	通年		934人	
	やまなし文学賞関係	運営委員会	5月8日(水)	研修室	15人	
	教育センター共催研修	閲覧室・展示室見学	7月24日(水)	研修室	13人	
	朗読公演会	かわせみ座「Marionette Poems」	8月18日(日)	講堂	306人	

令和6年度 閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	もっと知りたい中村星湖	令和6年4月26日(金)～6月23日(日)	特設展「中村星湖展」関連
2	たべもの百景	令和6年7月12日(金)～8月25日(日)	特設展「文学はおいしい」関連
3	俳句への誘い	令和6年9月13日(金)～11月24日(日)	企画展「金子兜太」関連
4	児童文学の翻訳者たち	令和7年1月2日(木)～3月23日(日)	

◆ 山梨ゆかりの文学者資料紹介

	展示名	展示期間	備考
1	高浜虚子 生誕150年	令和6年6月5日(水)～7月10日(水)	
2	時代小説を読む	令和6年8月28日(水)～9月11日(水)	
3	誕生日にちなんだ資料紹介 山崎方代 生誕110年(11月1日生まれ)	令和6年11月27日(水)～12月25日(水)	
4	野尻抱影 生誕140年	令和7年3月26日(水)～4月23日(水)	

◆ その他の資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	七夕と星の展示	令和6年6月26日(水)～7月10日(水)	
2	クリスマスの展示	令和6年12月4日(水)～12月25日(水)	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介している。

令和6年度は、5月5日(日)、7月14日(日)、8月11日(日)、11月20日(水)に実施。

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

単位:件 (R6.9.30現在)

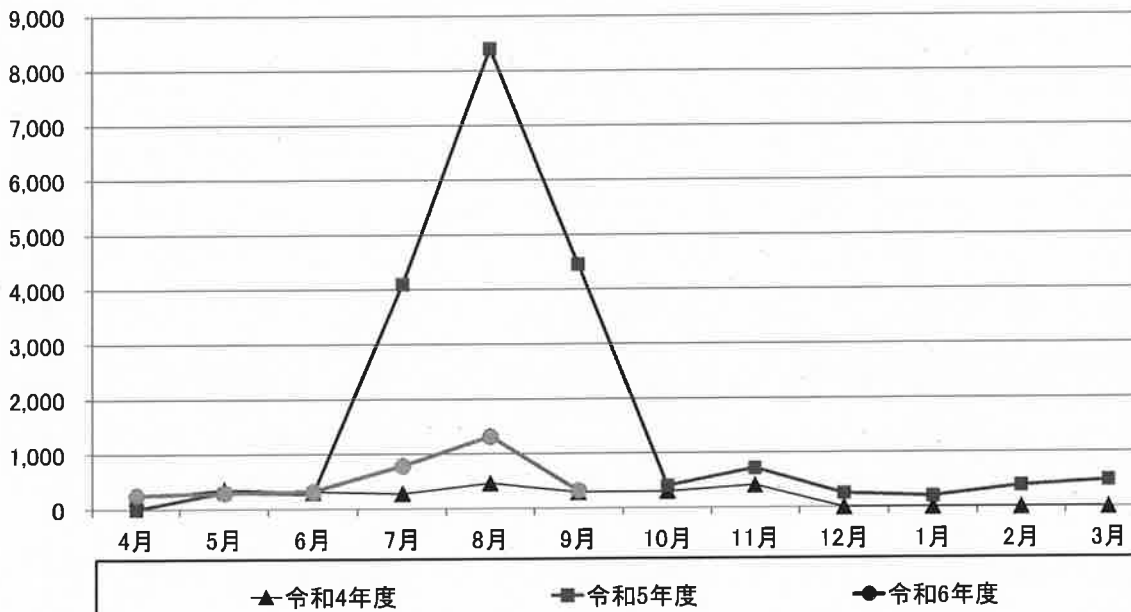
	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
令和4年度	212	2,626	38	199	760	519	1,445	10	460	625
令和5年度	281	19,992	54	255	961	782	2,038	159	815	731
令和6年度	158	3,287	40	138	291	274	1,022	14	499	358

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (R6.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
令和4年度	220	356	314	278	460	292	298	408	0	0	0	0	2,626	12
令和5年度	0	302	277	4,101	8,404	4,453	407	721	255	198	389	485	19,992	71
令和6年度	253	295	319	784	1,316	320							3,287	21

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (R6.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
令和4年度	71	61	47	52	59	45	46	84	14	22	18	11	530	3
令和5年度	29	73	66	69	103	74	59	114	47	56	41	51	782	3
令和6年度	38	54	45	46	52	39							274	2

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (R6.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
令和4年度	312	105	206	144	90	173	251	130	39	5	0	786	2,241	11
令和5年度	3	153	378	38	221	161	316	333	213	193	107	81	2,197	8
令和6年度	13	357	162	81	160	263							1,036	7

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園

指定管理者 SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

令和5年度 事業報告

◆目次

1. 指定管理令和5年度の運営方針
2. 来館者増に繋がる取り組み強化
3. 来館者サービスの向上
4. 安心・安全で効率的な施設運営

1. 指定管理令和5年度の運営方針

指定管理令和5年度（1年間）の運営方針

- 地域力を発揮し、
観光客を含む来館者増に繋がる取り組みを強化
- 環境変化に対応し、来館者サービスの向上
- 安心・安全で効率的な施設運営

2. 来館者増に繋がる取り組み強化 地域連携

● 文学館・美術館 市町村との連携 営業活動

文学館・美術館の活動を県内に広くPRするため、県内の市町村との連携を強化した。

7月から9月にかけて開催した企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」では、展覧会情報を各市町村発行の広報誌に掲載いただけるよう、県内の市町村10ヶ所へ訪問し、担当者に直接依頼した。広報誌は全戸配布され、広報効果が高いことから、掲載につなげることで来館者増を目指した。



展覧会をPR



オープニングセレモニー

- ・甲斐市役所
- ・南アルプス市役所
- ・笛吹市役所
- ・山梨市役所
- ・甲州市役所
- ・昭和町役場
- ・中央市役所
- ・富士川町役場
- ・韮崎市役所
- ・北杜市役所

訪問先市町村

2. 来館者増に繋がる取り組み強化 新たな企画

● 茶室：十二単着付けショー（11月4日） ● 公園：ミュゼ・マルシェ（11月18・19日）

年間を通じてお客様への新たなイベント企画を行い、幅広い世代に楽しんでいただくことができた。

11月の特設展「それぞれの源氏物語」関連事業として、普段は身近に見ることが難しい王朝装束の「十二単」の着装の実演を実施。時代背景や着付けの所作等の解説付きで、実演終了後には着付けモデルとの記念撮影会を行った。参加者からは「貴重な経験ができた」など満足いただくイベントとなった。

同じく11月開催のミュゼ・マルシェでは、県内の飲食店や雑貨店、体験型ワークショップなど約100店舗に出店いただき、芸術の森公園が華やいだ雰囲気にも包まれた。2日間で8,000人を超える来場者で賑わった。



記念撮影会様子



ミュゼマルシェ

3. 来館者サービスの向上 環境変化に対応

● キャッシュレス決済の開始（5月1日～）

5月1日から文学館の観覧チケット購入でキャッシュレス決済を開始した。今までクレジットカードや交通系ICの使用を希望されるお客様が多かったため、あらゆる支払い方法やブランドに対応できるようにしている。また、新型コロナウイルスもあり非接触を推奨する時流にも応える形となった。



3. 来館者サービスの向上 研修実施

● SPSやまなし ミュージアムアテンダント研修 (12月11日)

休館日を利用して、避難訓練とサービススキル向上を目的とした研修を実施した。

避難訓練では、甲府西消防署に協力を仰ぎ、消防隊員に避難訓練の状況を確認いただき、緊急時の対応方法や、訓練の方法などのアドバイスをいただいた。また、実際に消防署に119番通報を行うなど、より実践的な訓練とした。このSPSやまなし独自の訓練を踏まえ、県職員も含めた全体訓練を令和6年2月に実施している。

サービススキル向上研修では、指定管理者として求められている業務と役割を再確認。看視の現場では、個人の行動が他のポジションや監視業務全体に影響が及ぶことを確認。一人一人の考勤が重要であることを再認識した。



避難訓練の様子



サービスワークの様子

4. 安心・安全で効率的な施設運営

● 文学館・美術館 出入口の全開放

新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことを受け、利用者の利便性向上のため、文学館では、カフェ・スペースにある公園側の出入口を。美術館でもレストランの公園側(ミュージアムコート側)の出入口を開放した。両館とも、出入口に消毒器を設置するなどの感染症対策は継続し、お客様の利便性の向上だけでなく、安全・安心な環境にも配慮した。



文学館カフェ・スペースの公園側出入口



美術館レストランの公園側出入口
(ミュージアムコート側)

4. 安心・安全で効率的な施設運営

● 文学館・美術館、貸館の定員制限の撤廃

文学館では、コロナ禍で実施していた貸館の定員数の制限を、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に合わせ撤廃し、定員数や必要な感染対策についても見直しを行った。事前に講堂や研修室・茶室の予約をいただいていた申請者には連絡を取り、大きな混乱はなかった。今後も、ウイズコロナの気運が高まる中、利用者の増加が見込まれることから、必要な対策をしっかりと講じながら対応にあたっていく。



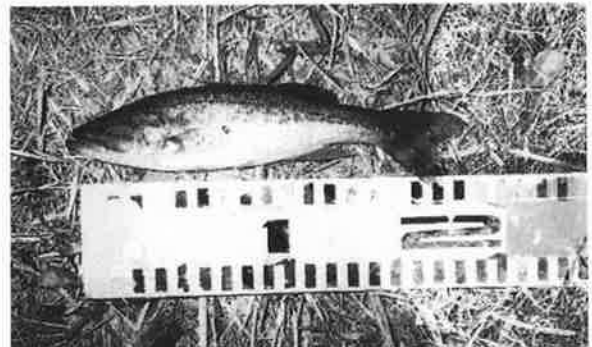
4. 安心・安全な施設の維持管理

● 文学館横 ふみの池外来魚駆除 (11月27日～12月1日)

文学館横のふみの池に外来魚がいるという公演利用者からのご意見があり、調査を行ったところ、本来は生息していないはずのブラックバスがいることがわかった。おそらく何者かが放したものと想像されるが、外来種の存在は生態系を壊す可能性が高いため、駆除を行った。ふみの池や水路も含めて、合計17匹の外来魚が捕獲された。今後も継続的に観察を行い、必要に応じて対策を行う。



水を抜いた池



実際駆除した外来種

令和6年度 上半期

山梨県立文学館 協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園
指定管理者 芸術の森みらいデザイン

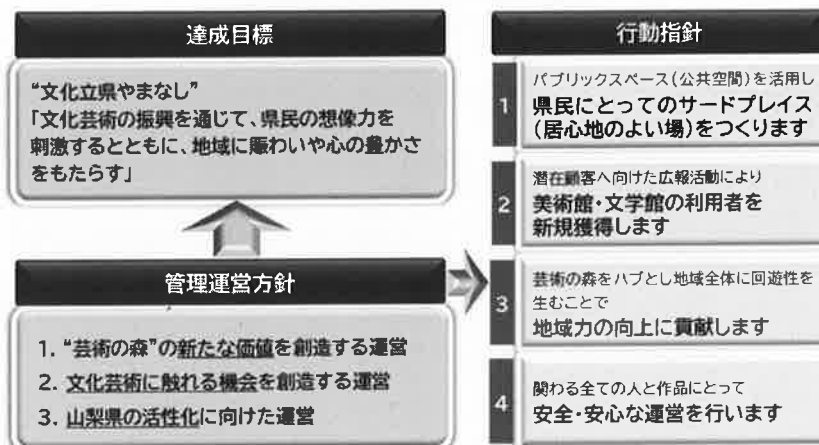
◆目次

1. 令和6年度の指定管理事業
2. 令和6年度 上半期取組み 広報活動&営業活動
3. サービス向上 研修実施とお客様の声への取組み
4. 安全・安心な施設の維持管理
5. 下半期の活動予定

1. 令和6年度の指定管理事業

令和6年度より、指定管理業務からレストランが分離し、
 (株)SPSやまなしと、甲府ビルサービス(株)の2社による新たな共同事業体
 「芸術の森みらいデザイン」として、運営を開始しました。

<今期の管理運営方針>



2. 令和6年度 上半期取組み 広報活動・営業活動

● 文学館：特設展「文学はおいしい」 関連イベント開催(8/17)

展覧会の観覧者数は、39日間の会期で3,865人(目標比92%)であった。会期後半の集客に向け、関連イベントとして、「文学はおいしいミニマーケット」と、「食品づくりワークショップ」を同時開催した。共催のテレビ山梨の協力により、イベントと展覧会の情報をあわせた告知CMを放送し、県民の方々へ向けたアピールを行った。ワークショップは開始前から行列ができるほど大盛況で、参加のお客様に積極的に展覧会を案内するなど、展覧会の観覧者増へつながる働きかけも行った。また、イベント講師のご厚意により、閲覧室の展示資料に登場する食品サンプルを展示。閲覧室との連携をはかり、より楽しめる資料展示となり、大変好評であった。

■ CM放送期間：ミニマーケット 8/10～8/16、 展覧会 8/15～8/25



テレビCM



閲覧室に展示した食品サンプル

2. 令和6年度 上半期取組み 広報活動・営業活動

● 文学館：特設展「文学はおいしい」市町村への営業活動

特設展「文学はおいしい」の営業活動として、県内の各市町村が発行している広報誌に展覧会情報を掲載いただくよう、市役所、町村役場を訪問して展覧会の魅力をアピールした。ポスターやチラシ等の告知ツールもポップなデザインにし、食べ物を通じ売文学を身近に感じていただけるよう工夫を行った。今後も県内市町村との連携を強化し、効率的に県民の方々に情報をお届けし展覧会の集客に繋げるとともに、県民の来館機会創出に向けた営業活動を継続していく。



昭和町広報誌

県内27市町村への営業活動

チラシデザイン

3. サービス向上 研修実施とお客様の声への取り組み

● 受付看視・総合案内スタッフの研修実施（4/22）

4月22日の休館日を利用し、看視・総合スタッフの研修を実施。指定管理4期目のスタートにあたり、基本に戻り、業務内容とその背景にある「役割理解」をテーマとした研修内容とした。

具体的な業務内容と、その業務の目的を考えるグループワークを通じ、期待されている役割を導き出した。合わせてサントリーグループの企業倫理綱領を使ったディスカッションを行い、コンプライアンス等の法令遵守についての確認も行った。研修内容を今後の業務に活かしていくことで、来館者満足度の向上につなげていきたい。



講義資料

まとめとして

期待されている役割

考勤

(指定管理者募集要項内) 3.施設の運営方針

利用者の満足度を高め、期待に応えるため、常に利用者の声を聴取し、反映できるものは積極的に取り入れることとします。

また、危機管理体制の整備、防犯体制の整備など利用者の安全確保や、防災対策、作品保存・展示環境の保全にも十分な配慮をするとともに、環境対策にも取り組むものとします。

考勤

業務

3. サービス向上 研修実施とお客様の声への取り組み

● 文学館：館内アンケート回収率向上への取り組み

これまでアンケートは、常設展と企画展・特設展と別々に2種類あったことで回答が分散し、回収率が1%ほどというかなり低い状態が続いていた。そのため、回収率を高め、収集したデータの信頼度を向上させることを目的に、美術館・文学館それぞれ1種類ずつのアンケート様式に変更した。

また、さらなる回収率の向上のため、文学館の休憩スペース（くつろぎスペース）にアンケート台を増設した他、作品リスト等に二次元コードを記載し、ウェブでも回答できるようにすることでお客様の利便性を高め、広く声を集めるための工夫を行った。収集したお客様の声のうち、すぐの対応が可能なご意見については、迅速に対応するよう取り組んでいる。

■ 回収率向上のための施策

アンケート用紙統一



アンケート台増設
(くつろぎスペース)



■ アンケートのお声への対応例

アンケートの声を聞いた
マナー啓発看板への案内文言の追加

アンケートのお声	対応
公園内で散歩をしていたお客様が、別のお客様が連れていた犬に噛まれてしまった。	公園内のマナー啓発看板を見直し。リードを短めに持ち、制御できる状態でペットを連れていただくよう、文言を追加した。



4. 安全・安心な施設の維持管理

● 芸術の森公園：野外ステージ客席の破損(5/8)

5月8日、朝の巡回時に警備員が野外ステージ（こだま広場）の客席の破損を発見した。客席座面のレンガが2.4mにわたり剥離し周囲に散乱していた。早急に周囲をコーンバーで封鎖し、故意による破損の可能性もあったため、警察へ通報した。警察による現場検証が行われ、今後巡回の強化を行うこととした。

その後、総務課と相談のうえで甲府警察署へ被害届を提出。修繕については現在発注手配を行い、準備を進めている。同様に劣化の進んだ個所についても点検を行い、安全管理に努めていく。



剥がれ落ちたレンガ



現場にコーンバーを設置し安全確保

5. 山梨県立文学館 令和6年度下半期 活動予定

● 文学館イベント

- ・ ミュゼマルシェ (11/16-17)
- ・ 県民の日イベント (11/20)
- ・ 落語ぶんがく亭 (12/3 桃月庵白酒・3/18 春風亭一之輔)
- ・ 音楽イベント (12/22予定)
- ・ クリスマステコレーション
- ・ お正月イベント

● 研修等

- ・ 総合案内スタッフ研修
- ・ 全館合同避難訓練

以上